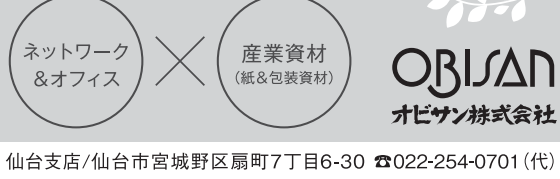


これからの、100年。 変わりゆく勇気、変わらない想い。



2024 12月23日 月曜日

建設新聞

発行所 建設新聞社 仙台市青葉区春日町7-5 TEL022(22)14601



横ばいの9634億円 50社総額3年連続1兆円下回る

24年12月調査 中央ゼネコン 東北地区最新完工高

本紙独自調査による2024年12月時点の中央ゼネコン・東北地区の完工高がまとまった。 上位50社の総額は、前年同期との比較で0.3割増の9633億9200万円とほぼ横ばい。3年連続で1兆円を下回る結果となった。50社総額のうち、土木が4.1割減の4532億9800万円と減少。一方、建築は4.6割増の5100億9500万円と増加した。

Table with 10 columns: Rank, Company Name, Fiscal Year, Previous Year, Northeast Construction High (Billion Yen), Construction High (Billion Yen), Total Construction High (Billion Yen), Completion High (Billion Yen), Profit Rate (%), Capital (Billion Yen). Lists 30 companies.

※表中、建築は建築一式、土木は土木一式、舗装、しゅんせつ、水道施設の合計

国交省 円滑な施工確保へ通知

補正成立受け 猛暑日の適正工期延長など

国土交通省は18日、2024年度補正予算の成立を受け、公共工事の円滑な施工確保を求める通知を全国の地方自治体に通知した。 13日に変更された品確法基本方針と入契法適正化指針を踏まえ、週休2日の確保に必要な経費の計上、猛暑日の日数に応じた工期延長の要請、工期に見込む日数に余裕を確保すること、

仙台電気工事業協組青年部会 大木にイルミネーション装飾 生徒との思い出づくり

仙台電気工事業協組青年部会 大木にイルミネーション装飾 生徒との思い出づくり



高所作業車による装飾

宮城県 第4期振興プラン 中間案示す

バックオフィスで負担軽減へ

宮城県は2025年度から推進する第4期みやぎ建設産業振興プラン(仮称)の策定に向けて、20日に県庁で第4回みやぎ建設産業振興懇談会(座長・増田聡)を開催した。 懇談会では、建設業界の未来に向けて各種施策を盛り込んだ。 新規に記載した施策を見ると、働き方改革につながるDXの推進は、バックオフィスによる分業化を促進していくことが重要と見られる。 現場技術者の負担軽減に、バックオフィスによる分業化を促進していくことが重要と見られる。 現場技術者の負担軽減に、バックオフィスによる分業化を促進していくことが重要と見られる。

懇談会の様子

鹿島 試験要員を7割削減

成瀬ダム 新CSG締め管理手法導入

鹿島 東京都市圏 天野 裕正代表取締役社長は、CSGなどの新たな締め管理手法として「Geo-DX Compact」を開発し、秋田県成瀬ダムで同社JVが施工中の成瀬ダム堤体打設工事に導入した。 試験要員を7割削減したほか、現場密度の可視化を実現した。



Geo-DX Compact

成瀬ダムでは、品質管理について従来法と併用しながら2022年に同手法を導入し、計測精度の向上や牽引方法の改良を

成瀬ダムでは、品質管理について従来法と併用しながら2022年に同手法を導入し、計測精度の向上や牽引方法の改良を

成瀬ダムでは、品質管理について従来法と併用しながら2022年に同手法を導入し、計測精度の向上や牽引方法の改良を

燃え広がらないから安心! 建築用 高性能難燃断熱ボード サーマックス